

や ひ こ
弥彦地区
(新潟県弥彦村)

- 計 画 期 間 平成 19 年度～平成 23 年度
- 面 積 274.8ha
- 交付対象事業費 754 百万円
- 村人口 7,746 人

ポイント 温泉街の活性化により、定住人口を守るとともに交流人口を増やし、住みよい街が行きたい街」の実現を目指す。

地区概要 生活基盤整備による住環境の改善を図るとともに、温泉街・地域の歴史的資源を活用した街並み整備を行い、地域の魅力向上を図る。

- 目 標**
- ①健康づくりと一体となった住環境整備を行い、定住人口を守る。
 - ②歴史資源や温泉を活用し、街並みや集客施設を整備し、交流人口の増加を図る。
 - ③住民と協働したまちづくりを目指す。

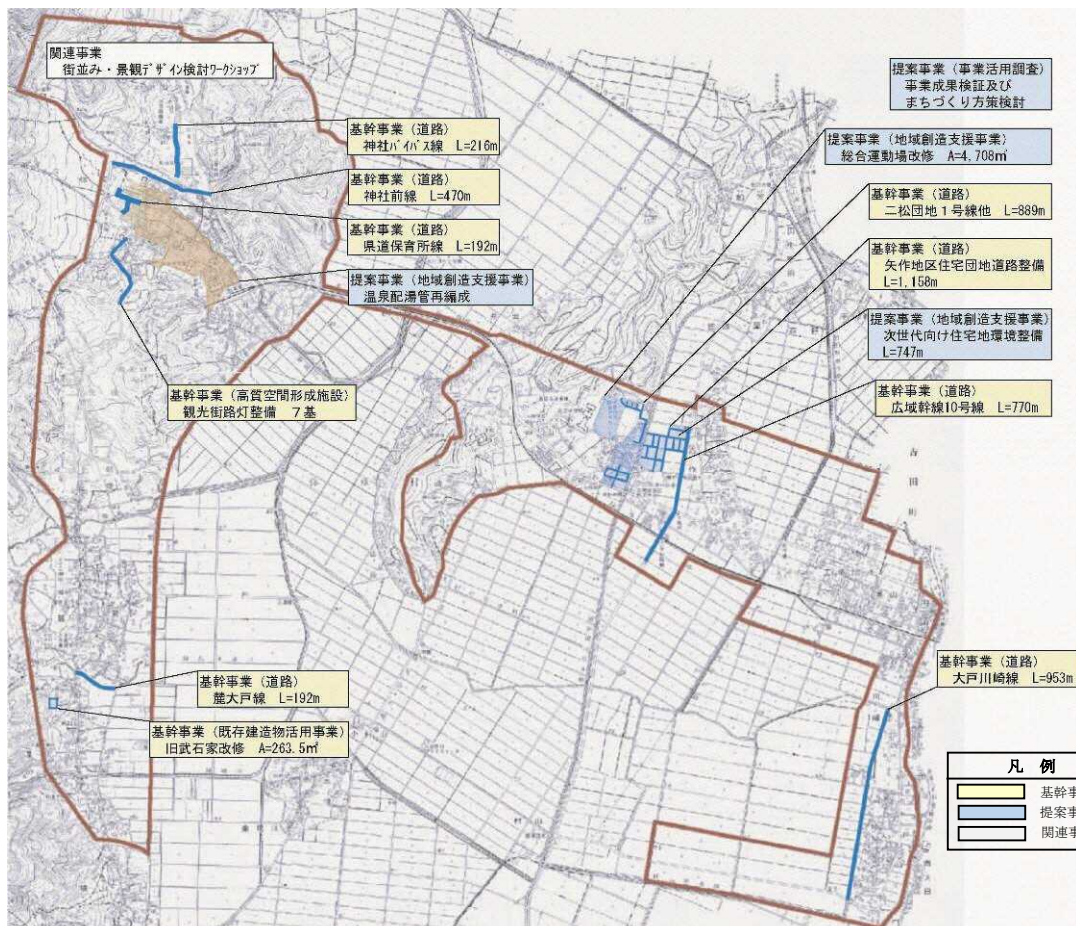
指 標

住環境整備、街並み整備による魅力向上による、人口定着・交流人口の増加を指標とした。

項 目	現状値	(年)		整備後	(年)
村の総人口	8,647 人	(H17)	→	8,795 人	(H23)
観光入り込み客数	242 万人/年	(H15)	→	266 万人/年	(H23)
景観づくりの組織数	0 団体	(H18)	→	0 団体	(H23)

事業内容 基幹事業（537 百万円） → 道路（8 路線 L=4,877m W=5m～14m）、街路灯（7 基）、既存建物活用（旧武石家改修）

提案事業（694 百万円） → 住環境整備（下水道）、温泉配湯管再編成、総合運動場改修、事業成果検証、街並み・景観デザインワークショップ

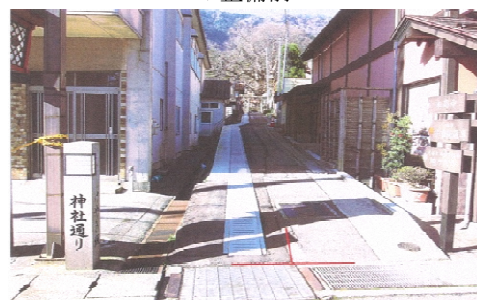


地区の現況と課題

弥彦村は、県庁所在地である新潟市、次いで大きい長岡市に隣接し、佐渡弥彦米山国定公園の豊かな自然に囲まれ、住みよい環境により人口が微増傾向にある。また、温泉、神社等観光資源に恵まれており、年間 200 万人を超える観光客が訪れている。

しかし、近年人口の増加が鈍化し、将来人口の減少が見込まれるため、定住人口を守ることが課題となっている。また、観光産業が村の主要な産業の 1 つであり、地震による風評被害を払拭し観光産業の活性化を図ることが強く求められている。

▼整備前



▼整備後



▲基幹事業（道路事業）村道県道保育所線

提案事業の特徴

次世代向け住宅地環境整備

村が人口増加策として造成を行う次世代向け住宅地（2.7ha、82区画）の下水道の整備を行う。

温泉配湯管再編成

温泉の不当表示問題や中越大震災の風評被害に対し、弥彦村観光活性化のために掘削した新温泉の配湯管を新たに埋設する。

街並み・景観デザイン検討ワークショップ

広く住民の参加を募り、街並み・景観デザインワークショップを開催する。弥彦の街を歩き街並みを再発見したり、景観デザインの検討を行う。

計画策定プロセス

まちづくりアンケート調査の実施

一般住民（18歳以上）320人、中学生（1, 2年生）233人を対象にまちづくりへの意向調査を実施した。（回収率72%）

村の将来像として、「豊かな自然を保全活用した、自然と共生する村にする」、「観光施設やレクリエーション施設等の整備された観光の村にする」、「住宅開発や生活関連施設の整った良好な住宅環境のある村にする」という意見が多くを占めた。

全国都市再生モデル調査

街並み・デザインと自転車を活用した温泉街活性化実験を目的として、総合デザイン計画の策定、修景実験、弥彦山ヒルクライム大会を実施した。



▲村指定文化財・旧武石家住宅



▲新温泉の配湯施設



▲景観デザイン検討ワークショップ